【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年2月4日(2025.2.4)

【公開番号】特開2025-13418(P2025-13418A)
【公開日】令和7年1月24日(2025.1.24)
【年通号数】公開公報(特許)2025-014
【出願番号】特願2024-191796(P2024-191796)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ 18/12(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ 18/12

【手続補正書】
【提出日】令和7年1月27日(2025.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
患者の内腔内の標的組織に限局的治療を提供するためのシステムであって、
前記標的組織付近に前記内腔内で位置決め可能な複数の独立して通電可能な電極と、
少なくとも１つのエネルギー送達アルゴリズムを備えるジェネレータであって、前記少なくとも１つのエネルギー送達アルゴリズムは、パルス電界エネルギーを提供するように構成され、前記パルス電界エネルギーは、ナノ秒からマイクロ秒のパルス持続時間を反映する周波数を有する双極性の相殺を用いることにより、前記標的組織の細胞および細胞の細胞小器官膜の両方を不安定化させる波形を有し、前記少なくとも１つのエネルギー送達アルゴリズムは、不安定化させられた細胞および細胞小器官膜を有する前記細胞の最終的な死に至る送達を前記複数の独立して通電可能な電極のうちの少なくともいくつかに繰り返すパターンで前記複数の独立して通電可能な電極の各々にエネルギーを送達する、ジェネレータと
を備えるシステム。
【請求項２】
前記独立して通電可能な電極のうちの少なくとも１つが単極式で機能することを可能にする位置で前記患者上に位置決め可能な分散電極をさらに備える、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
ナノ秒からマイクロ秒のパルス持続時間を反映する前記周波数は、およそ１００～６００ｋＨｚの範囲にある、請求項１に記載のシステム。
【請求項４】
前記複数の独立して通電可能な電極は、前記標的組織付近に位置決めされているとき前記内腔の内側周面まわりに配置される、請求項１に記載のシステム。
【請求項５】
前記パターンは、前記パルス電界エネルギーを重複したパターンで前記複数の独立して通電可能な電極に送達する、請求項１に記載のシステム。
【請求項６】
前記パルス電界エネルギーは、パケットで構成され、各パケットは、前記パケットが前記パターンで前記複数の独立して通電可能な電極に送達されるように、休止期間だけ間隔を

置かれている、請求項５に記載のシステム。
【請求項７】
パケットは、不安定化された細胞および細胞小器官膜を有する前記細胞の死に至ることを増加および／または最大化するように間隔を置かれている、請求項６に記載のシステム。
【請求項８】
前記パケットのうちの少なくとも１つは、前記パケットのうちの別のものに比べて低減した強度を有する、請求項６に記載のシステム。
【請求項９】
前記低減した強度を有する前記パケットのうちの前記少なくとも１つは、規則的なパターンで配置された複数のメンテナンスパルスを備える、請求項８に記載のシステム。
【請求項１０】
前記低減した強度を有する前記パケットのうちの前記少なくとも１つは、不規則的なパターンで配置された複数のメンテナンスパルスを備える、請求項８に記載のシステム。
【請求項１１】
前記低減した強度を有する前記パケットのうちの前記少なくとも１つは、相互に同一の強度を有する複数のメンテナンスパルスを備える、請求項８に記載のシステム。
【請求項１２】
前記低減した強度を有する前記パケットのうちの前記少なくとも１つは、複数のメンテナンスパルスを備え、前記複数のメンテナンスパルスのうちの少なくともいくつかは、相互に比べて異なる強度を有する、請求項８に記載のシステム。
【請求項１３】
前記低減した強度は、前記パケットのうちの別のものに比べて、より高い周波数、より低い電圧、および／または、より少ないサイクルを備える、請求項８に記載のシステム。
【請求項１４】
前記アルゴリズムは、前記複数の独立して通電可能な電極のうちの少なくとも２つにエネルギーを同時に送達するように構成され、これにより、前記複数の独立して通電可能な電極のうちの前記少なくとも２つは、単一の電極として作用する、請求項１に記載のシステム。
【請求項１５】
前記アルゴリズムは、前記複数の独立して通電可能な電極のうちの複数の異なるグループ分けにエネルギーを同時に送達するように構成され、これにより、前記複数の異なるグループ分けの各々は、単一の電極として作用する、請求項１４に記載のシステム。